

注3

大学番号：国009

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

岩手大学 総合科学研究科 農学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岩手大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	経営企画本部	戦略企画室
職名・氏名	センリヤクキカク 戦略企画グループ主査	シュサ ツツミダイスケ 堤 大輔
電話番号	019-621-6032	
（夜間）	019-621-6032	
F A X	019-621-6014	
e-mail	senryaku@iwate-u.ac.jp	

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合科学研究科

<農学専攻>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

<別添資料>

資料1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	22
----------------------------	----

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岩手大学

(2) 大学名

岩手大学大学院

(3) 大学の位置

〒020-8550

岩手県盛岡市上田3-18-8

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	イワブチ アキラ 岩瀬 明 (平成27年3月)		
研究科長	ヤシロ ヒトシ 八代 仁 (平成29年4月)		
専攻長	タカハタ ヨシヒト 高畑 義人 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合科学研究科 農学専攻 修士(農学)	農学分野	2年	50人	100人	基礎となる学部等 農学部(植物生命科学科、応用生物化学科、動物科学科)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 (-) [-]				1.08 倍	
志願者数	60 (-) [-]	- (-) [-]				
受験者数	59 (-) [-]	- (-) [-]				
合格者数	57 (-) [-]	- (-) [-]				
B 入学者数	54 (-) [-]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.08					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	54 [-] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	
3年次			/		
計	54 [-] (-)	[] ()			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	54 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	54 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜総合科学研究科 農学専攻＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	総合科学科目	震災復興・地域創生	地域創生特論	1前・後	1								兼11	オムニバス	
		地域防災特論	1後	1									兼8	オムニバス	
		地域文化特論	1後	1									兼10	オムニバス	
	イノベーション	物質機能創成特論	1前	1									兼8	オムニバス	
		システム創成特論	1後	1									兼8	オムニバス	
		先端生命科学特論	1後	1			2	4					兼2	オムニバス	
	グローバル	多文化共生特論	1後	1									兼10	オムニバス	
		グローバルエネルギー特論	1前	1									兼8	オムニバス	
		グローバル環境科学特論	1後	1			1	2					兼9	オムニバス	
	技法知科目	アカデミック英語 (A2-LSRW)	1・2前・後	1									兼5	7科目 英語から 選択必修 1単位	
アカデミック英語 (B1-LS)		1・2前・後	1									兼5			
アカデミック英語 (B1-RW)		1・2前・後	1									兼5			
アカデミック英語 (B2-LS)		1・2前・後	1									兼5			
アカデミック英語 (B2-RW)		1・2前・後	1									兼5			
アカデミック日本語		1・2前・後	1									兼1			
研究者倫理特論		1前	1					1				兼6	オムニバス		
学修支援論		1前			1							兼1			
学修支援演習	1前・後			1							兼1				
専攻共通科目	研究デザイン演習	1前		1			2	1						教育効果を高めるため教員の配置を見直した(29)	
	研究プレゼンテーション演習	2後		1			2	1						教育効果を高めるため教員の配置を見直した(29)	
	インターンシップ	1・2前・後		1			3						集中	教育効果を高めるため教員の配置を見直した(29)	
	次世代農学特論	1前	1				6	1				兼1	オムニバス		
コース専門科目 (植物生命科学コース)	作物生産生理学特論	1・2前		2		1									
	植物育種学特論	1・2前		2		1									
	植物病理学特論	1・2前		2		1									
	植物環境ストレス応答機構学特論	1・2前		2		1									
	果樹園芸学特論	1・2後		2		1									
	花卉園芸学特論	1・2前		2			1								
	野菜園芸学特論	1・2後		2			1								
	低温植物生理学特論	1・2前		2			1								
	植物分子生物学特論	1・2前		2			1								
	植物分子遺伝学特論	1・2後		2			1								
	昆虫生理学特論	1・2前		2					1						
	応用昆虫学特論	1・2後		2		1									
	植物ウイルス病学特論	1・2後		2			1								
	作物栽培学特論	1・2後		2			1				1				
	寒冷地果樹特論	1・2後		2											
	野菜生産学特論	1・2後		2				1							
遺伝子農学特論	1・2前		2									兼1	集中		
農業技術学特論	1・2後		2		1							兼4	集中	教育効果を高めるため教員の配置を見直した(29)	
植物バイオテクノロジー特論	1・2後		2									兼1			
植物生命科学特別講義	1・2前		1									兼1	集中		
植物生命科学特別研究	1～2通年	10				7	7	1	2			兼1		教員の異動によるため(29)	
コース専門科目 (応用生物化学コース)	栄養生化学特論	1・2前		2		1									
	ケミカルバイオロジー特論	1・2前		2		1									
	分子栄養学特論	1・2後		2			1								
	応用微生物学特論	1・2後		2		1									
	生化学特論	1・2後		2		1									
	分子生体機能学特論	1・2後		2			1								
	植物栄養生理学特論	1・2前		2			1								
	環境土壌学特論	1・2前		2			1								
	細胞構造形成学特論	1・2前		2		1									
	染色体・ゲノム生物学特論	1・2前		2			1								
	生体機能システム学特論	1・2後		2		1									
	食品物理化学工学特論	1・2後		2		1									
	食品科学特論	1・2前		2				1							
	調理加工学特論	1・2前		2									兼1	集中	
	産業微生物学特論	1・2前		2				1							
	応用生物化学特別講義	1・2前		1									兼1	集中	
応用生物化学特別研究	1～2通年	10				7	7								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
コース専門科目 (動物科学コース)	動物栄養生化学特論	1・2前		2		1					兼1 兼1 集中 教育効果をもとめるため担当教員を追加した(29)
	動物代謝学特論	1・2後		2		1					
	動物生殖学特論	1・2後		2							
	動物遺伝育種学特論	1・2前		2			1				
	動物資源利用学特論	1・2前		2			1				
	動物生理学特論	1・2前		2			1				
	動物管理学特論	1・2後		2			1				
	動物栄養生理学特論	1・2前		2			1				
	動物生殖工学特論	1・2前		2		1					
	草地学特論	1・2後		2		1					
	動物科学特別講義	1・2前		1							
	動物科学特別研究	1～2通年	10			5 4	5		1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	65	2	72	5	65	2	72	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{72} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	280,802 m ²	0 m ²	0 m ²	280,802 m ²				
	運動場用地	61,037 m ²	0 m ²	0 m ²	61,037 m ²				
	小 計	341,839 m ²	0 m ²	0 m ²	341,839 m ²				
	そ の 他	74,213 m ²	0 m ²	0 m ²	74,213 m ²				
	合 計	416,052 m ²	0 m ²	0 m ²	416,052 m ²				
(2) 校 舎	専 用	141,583 m ²	0 m ²	共用する他の学校等の専用	計				
	(141,583 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(141,583 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	96 室	51 室	362 室	12 室 (補助職員 0人)	3 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	総合科学研究科農学専攻			40 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能のため、大学全体での数 予算状況（運営費交付金の状況）等の変更による(29)	
	総合科学研究科農学専攻	909,997 [199,025] 902,912 [198,398] (887,312 [196,998])	11,525 11,579 [2,204] (11,419 [2,184])	6,340 [5,767] 6,232 [5,660] (6,202 [5,630])	4743 3850 (3,750)	87 89 (87)	0 0 (0)		
	計	909,997 [199,025] 902,912 [198,398] (887,312 [196,998])	11,525 11,579 [2,204] (11,419 [2,184])	6,340 [5,767] 6,232 [5,660] (6,202 [5,630])	4743 3850 (3,750)	87 89 (87)	0 0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,089 m ²		679 席		678,172 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,357 m ²		野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収定容員	学位又は称号	平均入定学員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	6	250	学士（総合科学）	1.04	平成28年度		
地域政策課程	4	75	4	150	学士（総合科学）	1.06	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部								岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士（教育）	1.07	平成12年度		
生涯教育課程	4	—	—	—	学士（生涯教育）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	学士（芸術文化）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部			3年次					岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	2	180	学士（理工学）	1.05	平成28年度		
物理・材料理工学科	4	80	2	160	学士（理工学）	1.02	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	16	540	学士（工学）	1.02	平成28年度	同上	
工学部								岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度		平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.08	平成28年度		
応用生物化学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.02	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	—	60	学士（農学）	1.08	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	2	120	学士（農学）	1.06	平成28年度	同上	
動物科学科	4	30	1	60	学士（農学）	1.01	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共生環境課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	—	180	学士（獣医学）	1.08	平成24年度	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士（獣医学）	—	平成19年度	同上	平成24年より学生募集停止
総合科学研究科（修士課程）								岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
地域創生専攻	2	54	—	54	修士（農学） 修士（水産学） 修士（工学） 修士（スポーツ健康科学） 修士（学術）	1.18	平成29年度		
総合文化学専攻	2	10	—	10	修士（学術）	0.70	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
理工学専攻	2	180	—	180	修士（理工学） 修士（工学） 修士（芸術工学）	0.88	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
農学専攻	2	50	—	50	修士（農学）	1.08	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	

人文社会科学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間科学専攻	2	-	-	16	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
国際文化学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会・環境システム学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
教育学研究科（専門職学位課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士（専門職）	1.09	平成28年度	-	同上	
教育学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育実践専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成21年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成7年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
工学研究科（博士前期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
応用化学・生命工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
フロンティア材料機能工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
デザイン・メディア工学専攻	2	-	-	-	修士（工学又は芸術工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
金型・鋳造工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成18年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
農学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
農学生命専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
応用生物化学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
共生環境専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
動物科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
バイオフロンティア専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
工学研究科（博士後期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	-	27	博士（工学）	0.29	平成21年度	-	同上	
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.16	平成21年度	-	同上	
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.50	平成21年度	-	同上	
デザイン・メディア工学専攻	3	3	-	9	博士（工学又は芸術工学）	1.44	平成21年度	-	同上	
連合農学研究科（博士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
生物生産科学専攻	3	8	-	24	博士（農学又は学術）	1.12	平成2年度	-	同上	
生物資源科学専攻	3	10	-	30	博士（農学又は学術）	0.90	平成2年度	-	同上	
寒冷圏生命システム学専攻	3	6	-	18	博士（農学又は学術）	0.66	平成18年度	-	同上	
生物環境科学専攻	3	8	-	18	博士（農学又は学術）	0.91	平成2年度	-	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合科学研究科 農学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	上村 松生 (60)	平成29年4月	植物環境ストレス応答機構学特論 植物生命科学特別研究						
専	教授	黒田 榮喜 (63)	平成29年4月	次世代農学特論 作物生産生理学特論 植物生命科学特別研究	専	教授	黒田 榮喜 (63)	平成29年4月	インターンシップ 次世代農学特論 作物生産生理学特論 植物生命科学特別研究	平成29年4月 教育効果を高めるため教員の配置を見直した
専	教授	小森 貞男 (56)	平成29年4月	次世代農学特論 果樹園芸学特論 植物生命科学特別研究	専	教授	小森 貞男 (56)	平成29年4月	研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 次世代農学特論 果樹園芸学特論 植物生命科学特別研究	平成29年4月 教育効果を高めるため教員の配置を見直した
専	教授	佐原 健 (50)	平成29年4月	応用昆虫学特論 植物生命科学特別研究						
専	教授	高畑 義人 (63)	平成29年4月	植物育種学特論 植物生命科学特別研究						
					専	教授	由比 進 (58)	平成29年4月	農業技術学特論 植物生命科学特別研究	平成29年4月 新規採用
専	教授	吉川 信幸 (61)	平成29年4月	次世代農学特論 植物病理学特論 植物生命科学特別研究						
専	教授	伊藤 菊一 (53)	平成29年4月	先端生命科学特論 生体機能システム学特論 応用生物化学特別研究	専	教授	伊藤 菊一 (53)	平成29年4月	先端生命科学特論 研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 生体機能システム学特論 応用生物化学特別研究	平成29年4月 教育効果を高めるため教員の配置を見直した
専	教授	木村 賢一 (58)	平成29年4月	先端生命科学特論 ケミカルバイオロジー特論 応用生物化学特別研究	専	教授	木村 賢一 (58)	平成29年4月	先端生命科学特論 インターンシップ ケミカルバイオロジー特論 応用生物化学特別研究	平成29年4月 教育効果を高めるため教員の配置を見直した
専	教授	下飯 仁 (63)	平成29年4月	応用微生物学特論 応用生物化学特別研究						
専	教授	長澤 孝志 (62)	平成29年4月	次世代農学特論 栄養生化学特論 応用生物化学特別研究						
専	教授	西山 賢一 (51)	平成29年4月	細胞構造形成学特論 応用生物化学特別研究						
専	教授	三浦 靖 (58)	平成29年4月	食品物理化学工学特論 応用生物化学特別研究						
専	教授	山下 哲郎 (55)	平成29年4月	生化学特論 応用生物化学特別研究						
専	教授	喜多 一美 (54)	平成29年4月	次世代農学特論 動物栄養生化学特論 動物科学特別研究						
専	教授	佐野 宏明 (61)	平成29年4月	グローバル環境科学特論 研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 インターンシップ 動物代謝学特論 動物科学特別研究	専	教授	佐野 宏明 (61)	平成29年4月	グローバル環境科学特論 インターンシップ 動物代謝学特論 動物科学特別研究	平成29年4月 教育効果を高めるため教員の配置を見直した
専	教授	澤井 健 (47)	平成29年4月	次世代農学特論 動物生理工学特論 動物科学特別研究						
専	教授	築城 幹典 (58)	平成29年4月	草地学特論 動物科学特別研究						
専	教授	橋爪 力 (64)	平成29年4月	動物生殖学特論						
兼任	講師	橋爪 力 (65)	平成30年4月	動物生殖学特論						
					専	教授	村上 賢二 (55)	平成29年4月	動物科学特別研究	平成29年4月 教育効果を高めるため担当教員を追加した
専	准教授	磯貝 雅道 (48)	平成29年4月	植物ウイルス病学特論 植物生命科学特別研究						
専	准教授	加藤 一幾 (40)	平成29年4月	蔬菜園芸学特論 植物生命科学特別研究			後任未定			平成29年3月 加藤一幾准教授就任辞退 「後任未定」平成29年12月以降の専任教員採用予定で公募準備中 「蔬菜園芸学特論」は他の専任教員が担当する 「植物生命科学特別研究」は他の担当者がいるため支障はない
専	准教授	金澤 俊成 (53)	平成29年4月	蔬菜生産学特論 植物生命科学特別研究						
専	准教授	河村 幸男 (46)	平成29年4月	低温植物生理学特論 植物生命科学特別研究						
専	准教授	下野 裕之 (43)	平成29年4月	グローバル環境科学特論 作物栽培学特論 植物生命科学特別研究						
専	准教授	立澤 文見 (49)	平成29年4月	先端生命科学特論 花卉園芸学特論 植物生命科学特別研究	専	准教授	立澤 文見 (50)	平成29年4月	先端生命科学特論 花卉園芸学特論 蔬菜園芸学特論 植物生命科学特別研究	平成29年4月 教員の異動（加藤一幾准教授就任辞退）により「蔬菜園芸学特論」の担当を追加した

専	准教授	島山 勝徳 (47)	平成29年4月	研究者倫理特論 植物分子遺伝学特論 植物生命科学特別研究						
専	准教授	ランマン アビドゥール (46)	平成29年4月	植物分子生物学特論 植物生命科学特別研究						
専	准教授	伊藤 芳明 (49)	平成29年4月	先端生命科学特論 分子栄養学特論 応用生物化学特別研究						
専	准教授	斎藤 靖史 (53)	平成29年4月	染色体・ゲノム生物学特論 応用生物化学特別研究						
専	准教授	鈴木 雄二 (43)	平成29年4月	植物栄養生理学特論 応用生物化学特別研究						
専	准教授	立石 貴浩 (55)	平成29年4月	次世代農学特論 環境土壌学特論 応用生物化学特別研究						
専	准教授	塚本 知玄 (60)	平成29年4月	食品科学特論 応用生物化学特別研究						
専	准教授	宮崎 雅雄 (42)	平成29年4月	先端生命科学特論 分子生体機能学特論 応用生物化学特別研究						
専	准教授	山田 美和 (35)	平成29年4月	先端生命科学特論 産業微生物学特論 応用生物化学特別研究						
専	准教授	小田 伸一 (59)	平成29年4月	動物栄養生理学特論 動物科学特別研究						
専	准教授	西向 めぐみ (45)	平成29年4月	動物生理学特論 動物科学特別研究						
専	准教授	出口 善隆 (52)	平成29年4月	グローバル環境科学特論 動物管理科学特論 動物科学特別研究						
専	准教授	松原 和衛 (60)	平成29年4月	動物遺伝育種学特論 動物科学特別研究	専	准教授	松原 和衛 (60)	平成29年4月	研究デザイン演習 研究プレゼンテーション演習 動物遺伝育種学特論 動物科学特別研究	平成29年4月 教育効果を高めるため教員の配置を見直した
専	准教授	村元 隆行 (49)	平成29年4月	動物資源利用学特論 動物科学特別研究						
専	講師	安 嬰 (56)	平成29年4月	昆虫生理学特論 植物生命科学特別研究						
					専	助教	川原田 泰之 (37)	平成29年4月	植物生命科学特別研究	平成29年4月 新規採用
専	助教	渡邊 学 (41)	平成29年4月	寒冷地果樹特論 植物生命科学特別研究						
専	助教	平田 統一 (54)	平成29年4月	動物科学特別研究						
兼任	教授	佐藤 和憲 (62)	平成29年4月	地域創生特論 次世代農学特論						
兼任	教授	比屋根 哲 (59)	平成29年4月	地域創生特論 研究者倫理特論						
兼任	教授	廣田 純一 (62)	平成29年4月	地域創生特論 地域防災特論						
兼任	教授	廣瀬 宏一 (63)	平成29年4月	地域創生特論						
兼任	教授	南 正昭 (52)	平成29年4月	地域創生特論 地域防災特論						
兼任	教授	横山 英信 (54)	平成29年4月	地域創生特論 多文化共生特論						
兼任	教授	五味 壮平 (49)	平成29年4月	地域創生特論						
兼任	教授	越谷 信 (58)	平成29年4月	地域防災特論 グローバルエネルギー特論						
兼任	教授	井良沢 道也 (60)	平成29年4月	地域防災特論 グローバル環境科学特論						
兼任	教授	松岡 勝実 (54)	平成29年4月	地域防災特論						
兼任	教授	菱倉 哲 (61)	平成29年4月	地域防災特論						
兼任	教授	山崎 友子 (64)	平成29年4月	地域防災特論						
兼任	講師	山崎 友子 (65)	平成30年4月	地域防災特論						
兼任	教授	齋藤 博次 (62)	平成29年4月	地域文化特論 多文化共生特論						
兼任	教授	樋口 知志 (62)	平成29年4月	地域文化特論						
兼任	教授	菅野 文夫 (61)	平成29年4月	地域文化特論						
兼任	教授	大野 真男 (62)	平成29年4月	地域文化特論						
兼任	教授	家井 美千子 (60)	平成29年4月	地域文化特論						
兼任	教授	山本 昭彦 (60)	平成29年4月	地域文化特論						
兼任	教授	木村 直弘 (55)	平成29年4月	地域文化特論						
兼任	教授	高橋 宏一 (62)	平成29年4月	地域文化特論						
兼任	教授	西館 教芽 (52)	平成29年4月	物質機能創成特論						
兼任	教授	鎌田 康寛 (47)	平成29年4月	物質機能創成特論						
兼任	教授	西山 清 (59)	平成29年4月	システム創成特論						

兼任	教授	小林 宏一郎 (48)	平成29年4月	システム創成特論							
兼任	教授	本間 尚樹 (43)	平成29年4月	システム創成特論							
兼任	教授	武田 純一 (62)	平成29年4月	システム創成特論							
兼任	教授	富田 浩史 (50)	平成29年4月	先端生命科学特論							
兼任	教授	宇佐美 公生 (60)	平成29年4月	多文化共生特論							
兼任	教授	高木 浩一 (53)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論							
兼任	教授	向川 政治 (46)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論							
兼任	教授	竹口 竜弥 (53)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論							
兼任	教授	笹尾 俊明 (43)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論							
兼任	教授	竹原 明秀 (58)	平成29年4月	グローバル環境科学特論							
兼任	教授	関野 登 (58)	平成29年4月	グローバル環境科学特論							
兼任	教授	中澤 廣 (64)	平成29年4月	グローバル環境科学特論							
兼任	教授	白井 誠之 (52)	平成29年4月	グローバル環境科学特論							
兼任	教授	松岡 洋子 (56)	平成29年4月	アカデミック日本語							
兼任	教授	開 龍美 (62)	平成29年4月	研究者倫理特論							
兼任	教授	対馬 正秋 (54)	平成29年4月	研究者倫理特論							
兼任	教授	吉田 等明 (62)	平成29年4月	研究者倫理特論							
兼任	教授	脇野 博 (60)	平成29年4月	研究者倫理特論							
兼任	教授	吉澤 正人 (64)	平成29年4月	研究者倫理特論							
兼任	講師	吉澤 正人 (65)	平成30年4月	研究者倫理特論							
兼任	教授	菅原 悦子 (63)	平成29年4月	調理加工学特論							
兼任	准教授	伊藤 幸男 (46)	平成29年4月	地域創生特論							
兼任	准教授	石村 学志 (45)	平成29年4月	地域創生特論							
兼任	准教授	山本 清龍 (44)	平成29年4月	地域創生特論 グローバル環境科学特論							
兼任	准教授	山本 信次 (48)	平成29年4月	地域創生特論							
兼任	准教授	三宅 諭 (45)	平成29年4月	地域防災特論							
兼任	准教授	橋本 学 (55)	平成29年4月	地域文化特論							
兼任	准教授	小島 聡子 (48)	平成29年4月	地域文化特論							
兼任	准教授	伊藤 歩 (45)	平成29年4月	物質機能創成特論							
兼任	准教授	芝崎 祐二 (45)	平成29年4月	物質機能創成特論							
兼任	准教授	中西 良樹 (44)	平成29年4月	物質機能創成特論							
兼任	准教授	瓜生 誠司 (47)	平成29年4月	物質機能創成特論							
兼任	准教授	土岐 規仁 (45)	平成29年4月	物質機能創成特論							
兼任	准教授	永田 仁史 (55)	平成29年4月	システム創成特論							
兼任	准教授	佐藤 淳 (45)	平成29年4月	システム創成特論							
兼任	准教授	中谷 直司 (46)	平成29年4月	システム創成特論							
兼任	准教授	湯川 俊浩 (49)	平成29年4月	システム創成特論							
兼任	准教授	梁 仁實 (45)	平成29年4月	多文化共生特論							
兼任	准教授	海妻 径子 (48)	平成29年4月	多文化共生特論							
兼任	准教授	小林 葉子 (46)	平成29年4月	多文化共生特論							
兼任	准教授	GRAS Alexandre Jean (42)	平成29年4月	多文化共生特論							
兼任	准教授	川村 和宏 (40)	平成29年4月	多文化共生特論							
兼任	准教授	中里 まき子 (41)	平成29年4月	多文化共生特論							
兼任	准教授	中島 清隆 (42)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論 グローバル環境科学特論							
兼任	准教授	小野寺 英輝 (55)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論							
兼任	准教授	伊藤 幸男 (46)	平成29年4月	グローバルエネルギー特論							
兼任	准教授	三井 隆弘 (46)	平成29年4月	グローバル環境科学特論							
兼任	准教授	後藤 友明 (50)	平成29年4月	グローバル環境科学特論							

兼任	准教授	尾中 夏美 (59)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)					
兼任	准教授	主演 裕二 (35)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)					
兼任	准教授	江本 理恵 (46)	平成29年4月	学修支援論 学修支援演習					
兼任	助教	塚越 英晴 (33)	平成29年4月	先端生命科学特論					
兼任	講師	伊藤 博幸 (69)	平成29年4月	物質機能創成特論					
兼任	講師	菊池 孝美 (65)	平成29年4月	多文化共生特論					
兼任	講師	Robert Ken Asano (47)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)					
兼任	講師	Simon Douglas Carter Townsend (46)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)					
兼任	講師	Daniel Copeland Newbury (42)	平成29年4月	アカデミック英語 (A2-LSRW) アカデミック英語 (B1-LS) アカデミック英語 (B1-RW) アカデミック英語 (B2-LS) アカデミック英語 (B2-RW)					
兼任	講師	佐川 了 (66)	平成29年4月	農業技術学特論			削除		平成29年4月 新規採用の専任教員に授業科目を担当させるため削除
兼任	講師	阿部 陽 (41)	平成29年4月	遺伝子農学特論					
兼任	講師	西原 昌宏 (50)	平成29年4月	植物バイオテクノロジー特論					
兼任	講師	彦坂 幸毅 (49)	平成29年4月	植物生命科学特別講義					
兼任	講師	高木 博史 (59)	平成29年4月	応用生物化学特別講義					
兼任	講師	小倉 振一郎 (48)	平成29年4月	動物科学特別講義					

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
8	3	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
17	20	1	2	40	20	19	1	3	43	19	19	1	3	42
(20)	(19)	(1)	(3)	(43)						[+2]	[Δ1]	[]	[+1]	[+2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
40	0	0		43	0	0		42	0	0				
(43)	(0)	(0)						[+2]	[]	[]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	加藤 一幾	必修	植物生命科学特別研究	①	一身上の都合のため就任辞退 (29)	
			選択	蔬菜園芸学特論	①		
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由		科目	自由		科目
		計	2	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修		科目	必修		科目
		選択		科目	選択		科目
		自由		科目	自由		科目
		計		科目	計		科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由		科目	自由		科目
		計	2	科目	計	2	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

同分野の専任教員が代替するため支障はない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		該当なし			
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		是正意見				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等(〇〇学科、●●学科)の～すること。	〇〇意見				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<総合科学研究科 農学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p style="margin-left: 20px;">a 委員会の設置状況 教育推進機構教育推進連携部門 【規則：別添資料1】</p> <p style="margin-left: 20px;">b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 7回（参加教員14人ほか事務職員2人）</p> <p style="margin-left: 20px;">c 委員会の審議事項等 FD実施計画, GPA, 学年暦, 卒業生・修了生アンケートについて審議</p> <p>② 実施状況</p> <p style="margin-left: 20px;">a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD研修 ・ 授業公開 ・ 授業評価アンケート（前期, 後期各1回）の実施 <p style="margin-left: 20px;">b 実施方法 教育推進機構から各学部事務を通じて教員へ周知の上, 実施</p> <p style="margin-left: 20px;">c 開催状況（教員の参加状況含む） 全学FD研修（平成28年9月2日） 教員88名参加</p> <p style="margin-left: 20px;">d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業評価アンケート結果を踏まえ, 教育推進機構教育推進連携部門において, 改善事項の整理し, 全学FD研修のテーマとして改善に向けた取組を実施。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p style="margin-left: 20px;">a 実施の有無及び実施時期 前期及び後期に授業アンケートを実施</p> <p style="margin-left: 20px;">b 教員や学生への公開状況, 方法等 アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>平成29年4月農学専攻に54名の学生が入学し、設置計画に沿ったカリキュラムが開始された。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>平成30年度 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>平成29年度年度計画の自己点検・評価を通じた「自己点検・評価報告書」等を大学ホームページ上に公開予定（平成30年度中）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成31年度に評価機関の評価を受ける予定</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年 7月)</p>

岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則

(平成26年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学教育推進機構規則第18条第2項の規定に基づき、岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議（以下「部門会議」という。）に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 部門会議は、次に掲げる事項を審議するとともに、必要に応じて、教育推進機構会議への提言を行う。

- 一 教育推進連携部門に係る中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- 二 学生（卒業生を含む）に対する各種調査、学修成果測定等に関する企画、実施及び報告等に関すること。
- 三 各種教育プログラムの点検評価の企画、実施及び報告に関すること。
- 四 各学部における教育改善に資する情報提供及び助言等に関すること。
- 五 ファカルティ・ディベロップメントに関する研修会・講演会、ワークショップ、公開授業の企画及び開催・実施並びに評価に関すること。
- 六 カリキュラム、授業科目及び成績評価方法の調査・開発等に関すること。
- 七 教養教育と専門教育の連携に関すること。
- 八 複数学部間にまたがる専門基礎教育の連携に関すること。
- 九 その他教育改善及び専門教育の全学的な連携に関すること。

(組織)

第3条 部門会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 部門長
 - 二 専任教員
 - 三 兼務教員
 - 四 各学部の教務関係委員会から選出された教員 各1名
 - 五 各学部のFD又は教育評価を担当する委員会から選出された教員 各1名
 - 六 学務企画課長及び大学院・専門教育課長
 - 七 その他部門長が必要と認めた者
- 2 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門に岩手大学教育推進機構規則第12条に定める副部門長を置いた場合は、前項の部門会議の組織構成員とするものとする。

(任期)

第4条 前条第4号及び第5号の組織構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 部門会議に議長を置き、部門長をもって充てる。

- 2 議長は、部門会議を招集し、主宰する。
- 3 部門会議に副議長を置き、議長が指名する者をもって充てる。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部門会議は、組織構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、第3条第4号及び第5号のうちから1名以上の出席がなければ、会議を開くことができない。なお、第3条第4号及び第5号の組織構成員の代理出席を認めるものとする。

- 2 部門会議の議事は、出席した組織構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(組織構成員以外の者の出席)

第7条 部門会議が必要と認めたときは、組織構成員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部門会議の庶務は、学務企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、部門会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年10月1日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。